

関連項目：教育活動プラン③、⑤

自分たちの「学校生活の約束」を意識させ、振り返る機会を増やす

目的

本校では3年前に、全校児童が話し合って「学校生活5つの約束」を決めた。主体的によりよい学校を作ろうとする意欲が持続するように、そして、規範意識が更に高まるようにと願い、今年度は、自己評価や相互評価する機会を多く設けることにした。

内容

● 「学校生活5つの約束」の意識化（視覚に訴える掲示・毎日復唱）

各学級や全校掲示板に、「学校生活5つの約束」を視覚に訴えるように掲示し、毎日復唱するようにしている。帰りの会ではめあてが守れたか、学級委員や日直が呼びかけ、振り返りを行っている。

「学校生活5つの約束」～ 一人ひとりの手で気持ちのよい学校をつくりましょう ～

- ① あいさつ・返事（明るく元気に、いつでも誰にでも、先に進んで、続けて目を見て笑顔で）
- ② 廊下の歩き方（右側を、しずかに歩く）
- ③ きちんとした服装（シャツのすそ、ボタン、名札、くつ下、くつのかかと）
- ④ そうじ・せいとん（進んでごみひろい、時間いっぱい）
- ⑤ ことばづかい（進んで「ふわふわことば」）

5つの約束が守れているか、チェックしてみましょう。

● 毎月定期的に、児童会役員がよびかけ・チェック

毎月一回、全校朝会で、児童会役員が5つのカードを持って約束が守れているか、具体的に呼びかけ、全校生の意識を高めている。代表児童の呼びかけに応じて、各自、その場でセルフチェックをし、できている子はその場で起立していく。全校生は、がんばっている子を拍手で称賛する。その場で全体の傾向が把握できるので、各担任がその後の学級指導にも生かすことができる。また、この試みは、上級生のリーダーとしての自覚を育てる上でも役立っている。



● 強調月間、強調週間の設定と振り返りカードの活用

あいさつ・返事については、学期初めの4月9月1月を強調月間とし、あいさつチャンピオンの選定を行い、よいモデルを増やしていくことで意識を高めている。そうじについては毎月一週間「さしすせそうじがんばり週間」を設定し、ペアやグループで相互評価カードを用いて反省する場を確保している。また、カードにシールを貼っていくことで意欲化を図っている。ことばづかいについては、毎学期、なかよし旬間中に「ふわふわ言葉」を特に意識させるようにした。また、総まとめとして、「学校生活5つの約束セルフチェックカード」を作成し、各自の言動を点数化し、目に見える形で自己評価させ、自覚を促すようにした。

● 学級会や代表委員会での話し合い

毎月の児童会による全校チェック後は、必ず各学級で反省することを共通理解し、よくなっている点や今後、気をつけたいことなどについて話し合うことを大切にしている。代表委員会でも「学校生活5つの約束」をテーマにし、各学級でどのくらい守れているか、自分たちで5段階評定をし、今後の改善策を考えさせるようにした。

学校生活5つのやくそくセルフチェック

	月	火	水	木	金	とく点
① あいさつ・へんじ	○	○	◎	◎	○	12
② ろうかのあるきかた	○	△	○	◎	◎	11
③ ふくそう (シャツ、ボタン、名札、くつ下)	◎	◎	◎	◎	◎	15
④ すずんでごみひろい・そうじ	◎	◎	◎	◎	◎	15
⑤ ことばづかい(ふわふわことば ※ありがとう、ごめんねなど)	◎	○	○	◎	◎	13
今日のこうけいとおと						66

☆ 自分をふりかえって(いしきてがんばったこと・気をつけたことなど)

がんばったことは、そうじも教室のすみずみまでやてそうじをして自分のなかきれいになったと思いました。気づけることは、うかです。わたしは、からい愛持てるうかを走、えは、たので、だから学校のおてはんにいふにうかしています。

☆ みんながやくそくをまもって、気持ちのよい学校にするために、どうしたらよいでしょうか、学級で話し合い、全校生にも伝えましょう。

うかて、走、ていたら、ちゃんと注意してあげたさ、いいと思う。

成果

いろいろな場で自分を振り返る機会を多く持たせ、目に見える形で自己評価や相互評価をしていくことにより、児童の自覚が高まった。落ち着いた校風の中、規範意識も育ってきている。しかし、現在のセルフチェックの全校平均は75点満点中59点であり、教師の期待値80%よりは、まだ低い。5項目のうち、あいさつ・返事12.2点(81%)、歩き方11.2点(75%)、服装13.4点(89%)、そうじ11.3点(75%)、言葉遣い10.9点(73%)である。改善策を考えさせる中で、リーダー育成と個別指導に力を入れたい。